

安全防災部の報告

若槻地区安全推進大会の開催

10月29日(土)、若槻コミュニティセンターで若槻地区安全推進大会が開催され、150名の参加がありました。

長野中央警察署交通第二課小林達男課長の講話によると、若槻地区のスーパーで万引きが多く発生、交通事故では駐車場での運転ミスが多いとのことでした。

防災の部講師の長野中央消防局松木政夫若槻分署長は、3月に発生した東日本大震災の救援活動に従事され、その経験談を話されました。



長水防犯協会女性部による振込み詐欺防止の寸劇

防犯教室では長水防犯協会連合会・防犯女性部の振り込め詐欺防止の寸劇がありました。あわてて一人で行動をおこさず、周りの人達にも相談することなど教えられました。“自分の身は自分で守る”工夫が重要なポイント。最後に参加者全員で、交通安全、防犯運動を推進していくことを誓いました。

防災研修会の開催

12月10日(土)、若槻コミュニティセンターで正副区長及び防災関係者が参加し防災研修会を実施しました。この研修は、近年全国的に増加、激甚化している土砂災害に備えるため、若槻地区で来年度計画されている土砂災害訓練の事前学習を兼ねて実施しました。

当日は、長野市危機管理防災課から講師を招き、土砂災害の実情、警戒区域指定の意義、情報提供と避難方法などの講義を受け有意義な研修ができました。また、他の地区で実施した訓練の様子も知ることができ、今回の研修を来年度の訓練に活かしていきたいと思えます。

若槻地区にも、県から「がけ崩れ」「土石流」の警戒区域が指定されている箇所があります。災害に対応するには、「自分の身は自分で守る」という個人の心掛けや行動が重要です。市から各戸に配付されている「長野市土砂災害ハザードマップ」には、警戒区域指定状況のほか、普段からの備え、情報の入手方法及び避難の心得など重要な情報が掲載されています。これらを再確認し、一人ひとりが災害への認識を深め、地域全体の防災力の向上を図りましょう。

環境部会の報告

コミュニティセンター花壇整備



11月20日(日)、若槻コミュニティセンター駐車場の花壇に球根を植えました＝写真。

環境部会を中心に、コミわか各部会から30名の応援を得て、駐車場東側の土手にチューリップやスイセンなど500個の球根を植えました。

来春の開花が今から楽しみです。コミュニティセンターの利用者もその時期は観賞してください。心が豊かになりますよ。